

福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学） 月例報告書（1月）

派遣留学先：Vytautas Magnus University

氏名：佐藤誠

Labas! Mano vardas yra Makoto! こんにちは！国際地域学部2年生の佐藤誠です。この度、2018年1月20日から1年間程リトアニアのカウナスにあるヴィータウタス・マグナス大学にて交換留学生として派遣されることになりました。リトアニアは欧州のほぼ中央の位置にあり、バルト3国（リトアニア、ラトビア、エストニア）のうちの一つの国です。最近では、日本の安倍首相がリトアニアへ訪問したことがニュースで取り上げられていました。そんなリトアニアでの大学生活について報告していきたいと思います。

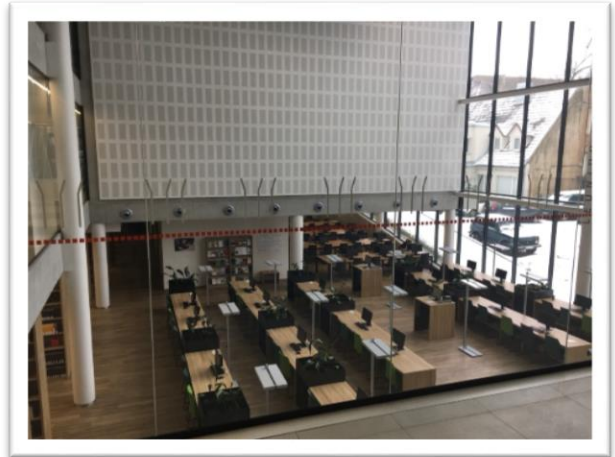
【オリエンテーションウィーク】

関西空港からフィンランドのヘルシンキを経由してリトアニアの首都であるヴィリニユスに約15時間かけて到着しました。到着時刻が21時頃で、寮のあるカウナスまでたどり着けるか不安でしたが、最寄りのバス停までタクシーを使い、そこからバスでカウナスまで無事にたどり着くことができました。また留学先の大学ではMentorという大学生活をサポートしてくれる学生がおり、その学生がカウナスのバスステーションから寮まで案内をしてくれました。分からないことや困ったことがあれば、Mentorに相談できるので新生活を安心して始めることが出来ました。

春学期の授業は2月1日から始まり、1月24日～1月31日までオリエンテーションウィークでした。右の写真は経済経営学部のキャンパスとして使用されており、オリエンテーションウィークでの説明などは主にこの場所で行われていました。日本の大学は一つの場所に全ての施設や建物が集合しているイメージがありますが、こちらの大学は学部ごとにキャンパスが点在しているのが新鮮でした。

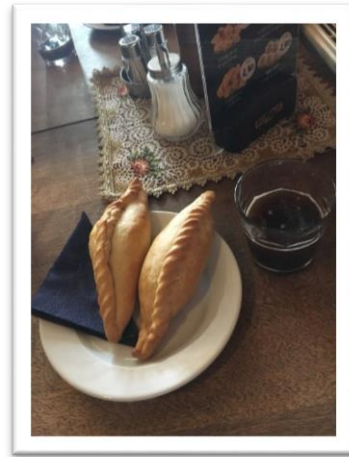


私が所属する政治科学外交学部のキャンパスは寮から歩いて15分ほどの場所にあります（写真左下）。今学期私が履修する多くの授業はこのキャンパスで開講されており、人文系の授業もこの建物で行われています。また、個人・グループ学習スペースや政治系や経済・経営系の本を借りられる図書館があります（写真右下）。この場所で約1年過ごせると思うと、胸が高まる気持ちでいっぱいになりました。



【ESN について】

ESN (Erasmus Student Network) という学生団体が、オリエンテーションウィークの活動やイベントの企画・運営を行ってくれました。Erasmus はヨーロッパの大学間交流を促進するための政策で、特に EU 圏の留学生は Erasmus Student と呼ばれています。ヴィータウタス・マグヌス大学では、EU 圏の学生はもちろん、中東やアジアなど様々な地域からの留学生がおり、体感としては正規生に対する留学生の割合が日本よりも圧倒的に多く感じます。ESN はオリエンテーションウィーク以外にも定期的に周辺国への旅行や、他大学との合同イベントなどの運営も行っています。



先日は ESN 企画のトラカイ城への旅行に参加し、その地域で伝統的なキビナイ (Kibinai) という料理を食べました。キビナイは肉まんの外側をパイ生地にした感じで、親しみのある味がしました。このようなイベントを通じて多くの留学生と知り合うことができました。2月からは本格的に授業が始まるので、その情報を共有できればと考えております。